

京田辺市女性交流支援ルーム

「ポケット」だより



ふれあい
夢フェスタ
テーマ

知って 感じて 体験しよう！
～ジェンダー視点で考える地域防災～

2026年
夏号

男女共同参画社会の実現をめざし、各種団体が協力して、6月27日（土）に京たなべ男女共同参画ふれあい夢フェスタが開催されました。

防災講演会「みんなで守る、みんなが守られる ～災害時に誰も取り残されないために～」

関西国際大学客員教授の齊藤容子さんを講師にお迎えし、ご講演いただきました。



◆◆◆ 男女共同参画の視点に配慮した運営 ◆◆◆

過去の大規模災害における避難所生活では、スペースの狭さやプライバシーが確保できないことなどが、避難者にとって大きなストレスとなりました。特に女性は、着替えや授乳、洗濯物を干す場所の確保、生理用品の受け取りなどで困惑する場面が多く見られました。また、災害という緊急時ゆえに、DVや性暴力被害が発生しても「周りに相談できない」「苦しみを理解してもらえない」といった深刻な問題も起きています。

避難所生活においては、男女それぞれのニーズの違いに配慮した、安全で安心できる空間づくりを目指す必要があります。子どもや高齢者、障害のある方などへの配慮も欠かさず、被災者が快適に過ごせるよう工夫や活動をすることが求められています。

◆◆◆ 平常時からの備えがすべて ◆◆◆

「緊急時なので仕方がない」という考え方を平常時から問い直し、女性や多様な立場の人々が地域の防災計画や避難所運営に参画していくことが必要です。今日から始められる防災について、家庭・地域・行政がそれぞれの立場で考え行動し、「自助・共助・公助」が連携して、みんなで「守り、守られる」関係を築いていくことが大切です。

参加者からの声

「とても分かりやすく、事前にどうすればいいか子供と考えたい」「避難所の設計や管理について、参考になりました。いろいろな被害について考えさせられました。」「トイレの大事さなど被災者の経験を聞いたのはよかった。」

～防災関連展示ブースより～

トイレは、避難所設営後すぐに対策が必要な問題です。自動ラップ式トイレは、排泄物を自動で袋に密封するものです。手軽に使い、匂いもなく、燃えるゴミとして処分できるなどのメリットがあり、電源がない場所でも、ソーラーパネルや蓄電池で稼働させることができます。

講演会後には、京田辺市の備品である自動ラップ式トイレや段ボールベッドなどを実際に体験することができました。



自動ラップ式トイレ



段ボールベッド

さまざまな分野における男女共同参画を推進するため、性別にとらわれず個性を発揮し、活躍している人を紹介します。

「女性の多様な挑戦を目指して」



▲Stellavia～京田辺起業女子の会～ 代表

西垣 裕子（にしがき・ゆうこ）さん

——Stellavia～京田辺起業女子の会
〜この活動について教えてください〜

起業している女性は、自宅でひとりパソコンに向かって作業していたり、個人的に小さいサロンを開いたり、割と孤独に仕事をしている人が多いです。そのような起業女性に向けて、自己実現や起業に役立つ勉強会を月イチで、会員同士の交流を深めるためのランチ会を隔月で開催しています。ママ友とはまた違う、仕事の話ができる横の繋がりが、この活動の目的の一つです。

また、その繋がりを求めて来ている人が多い印象です。

——活動をする上で注意している点は——
起業女性の集まる団体ではありませんが、誰にでも起業を勧めるつもりはありません。私たちは起業という選択肢をたまたま選びましたが、起業も含めて女性の働き方はいろんな選択肢があります。たくさんの方の選択肢を知った上

で、その人に最適な働き方を選んでほしいので、起業推しにならないように気をつけています。お互い学び合って刺激し合える、一緒に作っていけるコミュニティという雰囲気があるように心がけています。

——活動をする中で苦労されたことは——

人数が増えるほど、こちらの思いや熱量を伝える難しさを感じます。特に、昨年11月の「生き方・働き方見本市」でも、人によって受け取り方もさまざまなので、こちらの思いが思っているように伝わっていないと感じることがありました。同じ事であっても、伝わるまで何度も伝えることが大切だと思います。

——日頃心がけていることは——

基本的に8割くらいで動いて余力を残しておくことです。いざというときに加速が出来るための力を残しておくため、いつも100%ではなく、ゆるっとやっています。

——今後の抱負などを教えてください——

地域の女性が今の自分にとって一番良い生き方・働き方を自由にデザインできる拠点を作りたいです。そのために、行政、企業、教育機関などいろんなリソースを横断的に繋ぐ必要があります。ママに限らず一人一人が自分らしく輝いている実感を得るために、女性が気軽に立ち寄り、働くということについて考えたり、必要なことを学べたり、誰かと一緒に何かを作り出すことができる場所を実現していきたいです。

人との関わりを大切に、何事にも前向きに取り組む西垣さん。そのポジティブな姿勢や明るい人柄が、多くの女性の選択を後押しするのではないのでしょうか。

詳細版はHPをご覧ください！

♪ふれあい夢フェスタオープニング・体験ブースの様子です♪

オープニングは、桃園ジュニアバンドによる楽しい演奏で始まり、大ホール内では、パネル展示による各団体の活動報告が行われました。

各実行委員団体と協力団体による体験ブースでは、女性視点の防災グッズ展示、給水袋の重さ体験、防災ランタンづくりなど、テーマである防災に関連したブースが並びました。また、あそびの広場、竹細工体験のブースやクイズラリーでは、家族や親子で楽しめる様子がみられました。

ふれあい夢フェスタは、6月の男女共同参画週間にあわせて開催し、10月に広報・ホームページ等で実行委員団体を募集する予定です。多くの団体のご参加をお待ちしています。



「女性の相談室」より

ひとりで悩んでいませんか？女性の相談室では、女性の抱える悩みの解決に向けて、専門相談（フェミニスト・カウンセリング）や法律相談を下記のとおり行い、女性のカウンセラーや弁護士などが丁寧にお話を伺います。

京田辺市
女性交流支援ルーム
「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間

月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後1時～5時

▷専門相談 場所 女性交流支援ルーム

8月13日(木)・8月20日(木)・8月28日(金)
9月3日(木)・9月17日(木)
10月1日(木)・10月15日(木)・10月23日(金)
①13:30～ ②14:30～ ③15:30～

▷専門相談(夜間分) 場所 女性交流支援ルーム

9月25日(金) ①17:00～ ②18:00～ ③19:00～

▷法律相談 場所 女性交流支援ルーム

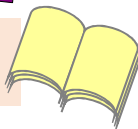
8月26日(水)・9月30日(水)
①13:30～ ②14:00～ ③14:30～ ④15:00～
10月28日(水)
①15:00～ ②15:30～ ③16:00～ ④16:30～

ご利用にあたり、予約が必要です。ので、「女性の相談室」にお電話ください。料金は無料です。

情報ライブラリー

本・DVDの紹介

情報ライブラリーでは、各種情報や資料を収集し、男女共同参画に関する図書、DVDの貸し出しをしています。その一部をご紹介します。お気に入りの一冊が見つかるといいですね。



本

「プレ更年期から高齢期まで 女の一生は女性ホルモンに支配されている!」天野 恵子 著

81歳、女性外来を作った伝説の女医によるプレ更年期から高齢期までの指南書決定版!



「ほどよく孤独に生きてみる」

藤井 英子 著

離れていい、ひとりでいい。誰かとうまくかわるための、心地よい「心の守り方」とは? 予約が絶えない心療内科医の「近づきすぎない」幸せの秘訣。



「ぼくのお父さん」

矢部 太郎 著

常識にとらわれず、のびのびと子どもと向き合い、ときに親自身も成長していくエピソードは、いまの子育て世代にこそ届けたい家族の姿です。



DVD

「幸せの1ページ」

監督:ジェニファー・フラケット、マーク・レヴィン
出演:ジョディ・フォスター、アビゲイル・ブレスリン 他



ベストセラー冒険小説家のアレクサンドラ・ローバーは、自分が書く勇気あるヒーローからは想像もつかないほど、問題を抱えている。対人恐怖症で極度の潔癖症の引きこもりだったのだ。しかし、ある日、南の島で暮らす少女からのSOSのメールを受け取り、彼女の生活は一変する…!

図書はこのような分類して所蔵しています。

・からだ・こころ	・生き方
・家族・子育て	・仕事
・暴力(DV・性暴力など)	
・男女共同参画・女性学・男性学	
・絵本・シリーズもの	など

初めての方は「貸出券」をお作りします。
借りたい図書・DVD等を交流スペースにお持ちください。
ぜひ手にとってご覧ください。

貸出券→



情報ライブラリー

図書等を借りることができます！

市内在住・通勤・通学の方なら、どなたでも図書等を借りることができます。
図書は、お一人2冊2週間まで
ビデオ（DVD）は、お一人1本1週間まで
※くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

交流スペース

市民のみなさんの交流の場等にご利用できます！

情報ボックスのご利用については、登録が必要になります。
※団体やグループでの利用について、くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

「女性の相談室」

女性が生きていく中でさまざまな悩みをお聴きし、解決に向けて寄り添い、一緒に考えます。
一人で悩まず、安心して、ご相談ください。秘密は厳守します。

一般相談（予約不要）

月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後1時～5時

専門相談（要予約）

（フェミニスト・カウンセリング）

毎月 第1・3木曜日
偶数月 第4金曜日
午後1時30分～4時30分

法律相談（要予約）

毎月 第4水曜日
（祝日の場合は第3水曜日）
午後1時30分～3時30分

料金は無料です。まずはお電話ください。

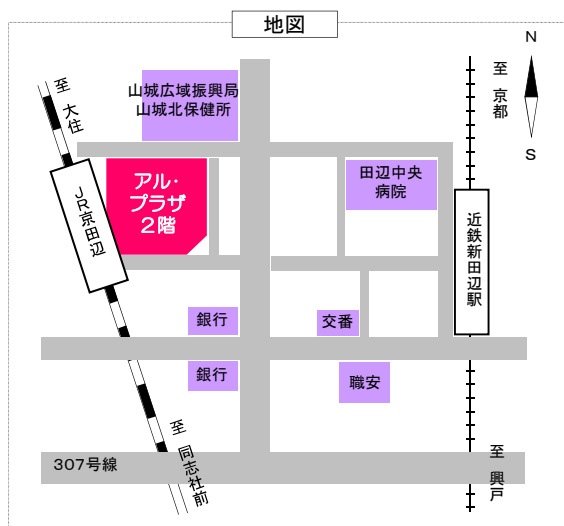
「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間

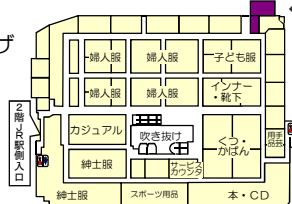
月曜日～金曜日
午前10時～午後5時



アクセス

JR 京田辺駅すぐ
近鉄 新田辺駅 徒歩5分
（アル・プラザ京田辺2階）

アル・プラザ
平面図



こちらが
女性交流支援ルーム
「ポケット」です。

開室日
開室時間
休室日

月曜日～金曜日
午前10時から午後6時まで
土・日・祝日 年末年始
アル・プラザ京田辺休業日

京田辺市 市民部 人権啓発推進課
京田辺市女性交流支援ルーム「ポケット」

TEL/FAX 0774-65-3709（直通）
〈相談専用〉TEL 0774-65-3727

愛称「ポケット」は、小さいけれど、いつでも情報が取り出せ、誰もが集まりやすい場所という意味で一般公募により名付けられました。

